

静身会報

発行所
社会福祉法人
静岡県身体障害者福祉会
静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-252-7829
FAX 054-255-2011
発行 平成28年1月10日
発行人 二橋 眞洲男
編集人 松本 夢吉

第94号



新年のごあいさつ

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会
会長 二橋 眞洲男

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、御承知のとおり、この4月から「障害者差別解消法」が施行され、行政機関や事業者には、障害を理由とする差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供義務（事業者は努力義務）が生じます。また、「障害者差別解消支援地域協議会」を設置して、障害を理由とする差別に関する相談や、事例を踏まえて差別を解消するための取組を行うため、関係機関によるネットワークを組織できることとしています。

このようなことから、全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざすため、障害者が住む地方の隅々まで障害者差別解消法の実効性が行き届くよう、すみやかに「障害者差別禁止条例」が制定されるべきものと考えています。

一方、同じくこの4月から「障害者雇用促進法改正法」が施行されます。この法律においても、雇用分野における障害を理由とする差別的取扱いを禁止するとともに、事業主に、過重な負担を及ぼす場合を除き、障害者が職場で働くに当たっての支障を改善するための措置を講ずることが義務付けられます。

今後、様々な分野において、障害者差別や合理的配慮義務違反の事例が明らかになり、また、それらの紛争解決事例も積み重ねられていくと思いますが、法が目指す社会の実現のため、よくよく注視していく必要があると考えています。

ところで、今年は申年です。サル賢さや機敏な動きから、活動的で、可能性が広がる年を連想させてくれます。是非そのような年であってほしいと願っています。

平成28年 丙申年

静岡県健康福祉部長との懇談会について

(身体障害者福祉施策に関する要望書の提出)

昨年10月27日(火)に県庁別館で、身体障害者9団体の代表者と静岡県の山口(重)健康福祉部長、萩原健康福祉部長代理、高橋障害者支援局長、山口(幸)障害者政策課長、渡辺障害福祉課長との懇談会が行われました。冒頭、二橋会長から9団体連名の『平成27年度身体障害者団体要望書』を山口(重)健康福祉部長に手渡しました。要望書の内容は以下のとおりです。



【要望書を提出する二橋会長】

<全体要望(複数の団体の共通要望)>

1 障害者差別禁止条例の制定について

障害者差別解消法が平成28年4月に施行されることに伴い、国においては「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」が閣議決定され、現在は職員対応要領及び事業者のための対応指針を策定するための手続きが進んでいます。静岡県においても、障害者権利条約の批准に沿い、また、地域に密着した「静岡県障害者差別禁止条例」を制定してください。

2 災害・防災に備えた施策の推進について

近年自然災害が全国的に多発していますが、要援護者である障害者は救助や避難生活に不安を抱えています。

安心・安全な暮らしができるように、障害者の特性等を考慮した対策を一層進めてください。

3 団体の維持・強化に対する支援について

各身体障害者団体は、障害者の自立や社会参加等を図るため、静岡県の委託事業をはじめ、さまざまな活動に取り組んでいます。しかし、会員の減少・高齢化、あるいは財政的基盤の脆弱化など、組織として危機的状況にあります。

団体の努力はもちろんですが、今やそれだけでは解決できない状況にあり、県・市町の支援について検討してください。

<団体別要望(団体独自の要望)>

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会からは次の3点を要望しました。

1 団体に対する支援について

会員の高齢化及び減少により、60有余年続いた本会組織は人的かつ財政的に非常に苦しい状況にあります。障害者の自立と社会参加を図るためには、安定した組織の存在が欠かせないにもかかわらず、脱会する団体もでてきます。市町が地域の身体障害者福祉会に補助金を支給する場合、任意団体の市町身体障害者福祉会に支給することなく、社会福祉法人である本会の会員であることを支給条件としていただくよう御指導ください。

2 送迎バス等の支援について

これまで、身体障害者がさまざまな事業や行事に参加するためには、市町等がマイクロバスを提供してくれる一部の地域を除き、身体障害者が運転する自家用車に相乗りで出かけることが一般的でした。しかし、会員の高齢化に伴い、自動車を運転することが危険な状況になっており、社会参加の機会が奪われています。このため、貸し切り送迎バスの経費補助、あるいは福祉バス等による移送支援ができる方策を御検討いただきたい。

3 体育館等の施設の適切な維持管理について

本会は、県から身体障害者福祉センター運営事務委託を受けており、その事務の中で福祉団体への便宜供与として体育館等の施設の貸出業務を行っていますが、施設の維持管理については、委託の対象外だと考えています。

現在、体育館においては、車椅子使用者専用のウォータークーラーが故障して利用できないこと、体育館の床に滑るところがあって利用者から苦情が出ていること、体育館は総合社会福祉会館の床清掃から除外されていることなど、施設に係る修理や維持・管理が適切におこなわれていない状況です。

このようなことは、障害者に対する「合理的な配慮」に欠けていると言わざるを得ないと考えますので、施設の適切な維持管理をお願いします。

その他8団体（①公益社団法人静岡県視覚障害者協会②公益社団法人静岡県聴覚障害者協会③静岡県車椅子友の会④日本喉摘者団体連合会静岡県静鈴会⑤公益社団法人日本オストミー協会静岡県支部⑥日本心臓ペースメーカー友の会静岡県支部⑦特定非営利活動法人静岡県中途失聴・難聴者協会⑧静岡県腎友会）から24項目の要望がありました。（紙面の都合で静岡県身体障害者福祉会に関する部分のみを掲載しました。）



第33回静岡県身体障害者自動車安全運転教室

開催日時：平成27年10月5日(日) 10:50~16:00

場 所：静岡県自動車学校 沼津校

静岡県身体障害者自動車安全運転教室が、静岡県自動車学校沼津校のご協力のもと開催されました。当日は県東部地区の会員30名が参加し、事故防止の心得を再確認しました。

実技講習では応急救護・急制動・自動車の死角・模擬追突を行いました。急制動は教習車に乗車し、徐行時と時速30kmで体験。徐行時の急停止でも自分の腕の力で体を支えるのは大変で、ましてや時速30kmとなるとシートベルトなしでは前に飛び出てしまいます。模擬追突では指導員の車と並行して走り、ブレーキをかけたときの車間距離の大切さがよくわかりました。

また、指導員の講話から、夕方以降に多発する死亡事故を防ぐために早めにライトを点灯する等、普段の心がけで事故を防げることを、実技体験からは十分な車間距離、シートベルトの着用で事故を防げることを学びました。

実技講習修了後、参加者30名に修了証と(一財)静岡県安全運転協会からご寄附いただいたステッカーを贈呈し終了しました。



三幸協同製作所社会見学旅行

今年度は、11月6日(金)、13日(金)、20日(金)と、コース別に3回に分けての旅行になりました。

1回目の6日は、名古屋方面へのコースとなりました。午前には徳川美術館で家康公ゆかりの品々を見学しました。昼食はひつまぶしなど、名古屋めしを満喫しました。午後はこのコースのメインとなる、大須演芸場で落語や漫才を見物しました。テレビで見たことのある芸人さんも出演して、とてもおもしろかったと好評でした。

2回目の13日は、蒲郡方面へのコースとなりました。ゆっくりと三幸を出発し、昼食にホテルで豪華な会席料理をいただきました。午後はラゲーナ蒲郡に行きました。平日のためあまり混んでなく、様々なアトラクションを楽しむことができました。

3回目の20日は、木曽路方面へのコースとなりました。このコースの目玉は「松茸食べ放題！りんご狩り食べ放題！」と、まさに食欲の秋というコースにしました。みなさんお腹がはちきれんばかりに食べて、とても大満足な様子でした。



第57回静岡県身体障害者福祉大会

平成27年9月25日(金)身体障害者及びその関係者が一堂に会し、現状の課題や今後の活動方針について理解を深め、一致団結して諸活動に取り組んでいくことを確認するため、標記大会が開催されました。

式典には、大須賀副知事や吉川県議会議長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、第一部式典、第二部事業報告・計画、大会宣言、決議と進み、第三部では、浪蔵劇団によるおれおれ詐欺等を題材とした公演を行いました。

今年度の表彰者は、下記の通りです。おめでとうございます。



【県知事】

◎功労表彰贈呈者（1名）

社会福祉関係団体役員（県段階の社会福祉関係団体の理事以上の職等に10年以上在職した者）

・大石 光行（掛川市）

◎褒賞贈呈者（2名） 身体障害者相談員（20年以上の在職者）

・山口 弘（伊東市） ・鈴木 英行（島田市）

【会長】

◎特別感謝状贈呈者（1名）（前年度に各郡市町会長を退職し、その功績顕著な者）

・小田島 幸弘（清水町）

◎一般社会人等感謝状贈呈者（2名）

（身体障害者の福祉向上に寄与し貢献があった一般団体又は個人で、会長又は郡市団体長の推薦した者）

・江崎 玲子（静岡県視覚障害者情報支援センター点訳奉仕員）

・中村 直子（静岡県視覚障害者情報支援センター音訳奉仕員）

◎関係機関職員等感謝状贈呈者（1名）

（県、市町その他関係機関において、引き続き5年又は通算して7年以上にわたり身体障害者福祉業務に従事し功績顕著な者）

・小林 利次（静鈴会）

◎功労表彰状贈呈者（4名）

（本会の理事、監事、評議員及び郡市団体の長として7年以上、又は町村団体として3期6年以上在籍し功績顕著な者）

・三村 文次（島田市）

（身体障害者相談員として10年以上在籍し、功績顕著な者）

・内田テルミ（三島市） ・小田 建之（藤枝市） ・森田フサヨ（牧之原市）

◎自立更生表彰状贈呈者（11名）

（身体の障害を克服して自立更生し、一般障害者の模範となる者で郡市町団体長の推薦した者）

・坂口 公子（熱海市） ・長井瑠璃子（三島市） ・森島美恵子（裾野市）

・萩原 章（藤枝市） ・増田 詔雄（島田市） ・福世吉太郎（吉田町）

・鈴木 睦美（御前崎市） ・松村 和利（菊川市） ・日吉 弘美（袋井市）

・渥美 晴男（磐田市） ・岡本 澄子（磐田市）

表彰者よりお礼の言葉

私たちは、身体障害者福祉会の役員・相談員・会員として、また、障害者の自立支援を支える者として身体障害者の福祉向上に微力ながら努力してまいりました。このような、私たちの活動が評価され、このように表彰していただきましたことは、身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。

また、私たちが励まし、支えていただいた多くの方々にも心よりお礼申し上げます。

第19回静岡県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会 (団体戦)

開催日時：平成27年11月7日(土) 9：30～15：30

場 所：草薙総合運動場 補助競技場

参加チーム数：38チーム (1チーム5人)

東部14チーム・中部12チーム・西部7チーム・
浜松5チーム

今回の大会は、選手の皆さんが芝にかなり苦戦したようでホールインワンが、26本という結果になりました。(ちなみに昨年は60本以上のホールインワンが出ています。)昨年と同じ会場でも少しの芝の変化で結果が変わってしまう、これもまたグラウンド・ゴルフの面白さなのかもしれません。

結果は3年連続御前崎市が優勝ということになりました。おめでとうございます。



【団体優勝 御前崎市Aチーム】

団体戦

順位	市町名	合計
優勝	御前崎市A	277
準優勝	御殿場市	278
3位	浜松市天竜支部	280
4位	函南町A	283
5位	長泉町B	285

個人戦

順位	市町名	氏名	合計
1位	御殿場市	袴田 浩司	45
2位	御前崎市B	長嶋 かつ	50
3位	御前崎市B	鈴木 朝江	51



※全出場チームの成績は、静岡県身体障害者福祉会のホームページをご覧ください。

静岡県障害者芸術祭参加事業 第41回静岡県障害者文化作品展を開催

開催日：平成27年11月12日(木)～17日(火)

場 所：静岡県総合社会福祉会館 1階展示ギャラリー他

今年も、県内在住の障害者自らが創作した作品232点が出展され、盛大に作品展を開催することができました。初日には、絵画・書道・写真・彫刻・工芸・手芸・文芸書画の7部門において審査が行われ、最優秀賞（静岡県健康福祉部長賞）6点をはじめとする計39点の入賞作品を決定しました。

それぞれの障害を抱えながらも力強く、個性溢れる作品の数々に、会場を訪れた来場者は一様に驚いている様子でした。

このたび、最優秀賞（静岡県健康福祉部長賞）に輝いた皆さんは下記のとおりです。おめでとうございます！



部門	題名	氏名	市町名	障害区分
絵画	神宮外苑の黄葉	平野 直道	熱海市	聴覚障害
書道	酔月	杉本ナオ子	福祉センター書道教室	内部障害
写真	感動の旅	榛葉純一郎	パーキンソン病友の会	パーキンソン病
工芸	陽明門	池田 繁夫	島田市	下肢機能障害
手芸	猿	戸田 初美	熱海市	内部障害
文芸書画	絵手紙 (花・手造りうさぎ・野菜)	村田きく代	藤枝市	肢体障害

※他の入賞者は、静岡県身体障害者福祉会のホームページに掲載しております。そちらもご覧ください。
(<http://www.e-switch.jp/shizuoka-shinsyo/27bunkajusyousya.pdf>)

ブロックだより

東部ブロック

三島市身体障害者福祉会

スポーツ吹矢の練習を始めました

私たちの福祉会も会員の減少と高齢化という悩みを抱えながら活動をつづけています。

そんな課題を少しでも解消させようと新規事業への取り組みを計画しました。そこで、会員の希望を調査するためアンケートを行った結果、スポーツ吹矢と囲碁・将棋が多数となり、新年度よりこの2事業に取り組むこととしました。今回は、特にスポーツ吹矢について紹介をさせていただきます。

毎月2回の練習日を設定し、練習を開始したところ15名を超える参加者を得ることができ、この中には新規加入の方もいて、成果があったと思います。

このスポーツ吹矢は、腹式呼吸を行うので健康面でも効果があり、みんな楽しく練習しており、参加者もすこしずつ増えている状況です。

この取り組みにつきまちは、県障害者スポーツ協会の中野様にご紹介をいただき、静岡県総合型スポーツクラブ連絡協議会会長の杉山克秀先生に用具の購入から、練習の指導まで大変お世話になりました。これからも啓蒙活動を行い参加者を増やししながら、新規会員の加入をめざした取り組みを進めていきたいと思っています。



中部ブロック

牧之原市身体障害者福祉会

障がい者生活サポート講座

会員数の減少している中、会員増加につながる方策はないものかと始めたのが、この「障がい者生活サポート講座」です。この原点は「静岡県中途失聴・難聴者協会」が開催している講座です。

今回2年目になります。昨年度は「障害者とは」「防災」をテーマにした講演で、今回は「レクリエーション」をテーマにレクリエーション指導員を講師に招き、体を動かしながらの楽しい講演にしました。

事前準備として、ポスター・ビラを作成し、市の協力も仰ぎ配布しました。具体的には、「重度障害者医療費助成受給証」交付に合わせビラを配布していただきました。しかし、当施設の参加者は20名程度でした。

今後も継続したいと思っています。



西部ブロック

御前崎市身体障害者福祉会

御前崎市身体障害者福祉会は、平成27年4月現在、会員数260名。旧浜岡町と旧御前崎町が合併し、早12年。合併当時は、人間関係も難しいところがありましたが、会員みんな意識を高め、今ではお互いに認め合い、身体障害者同士というご縁を大切に、他人を思いやる心を忘れずに、活動を行っています。

本福祉会を取り巻く環境は、新会員が入会せず、会員が減少し、高齢化が進み、また環境が変化し、他の福祉会と同様の悩みを抱えています。

一人で出来ることは限られていますが、会員同士力を合わせることで、毎年、特別養護老人ホーム灯光園と浜岡福祉会館で、清掃や草取り等の奉仕活動や、社会福祉協議会主催のふれあい広場への参加を継続しています。これらの事業を通し、達成感や充実感を感じることができます。

障害を抱えた一団体ですが、現代社会に乗り遅れないよう、積極的に行動し、趣味やスポーツに親しみ、自分の出来る範囲内で生きがいを得、一人でも多くの会員が参加したいと思える福祉会にしたいと思っています。



浜松ブロック

浜松市身体障害者福祉協議会

女性部、本部 合同ふれあい研修会開催！！

平成27年度「女性部、本部の合同ふれあい研修会」が、去る10月7日（水）、63名（女性40名、男性23名）が参加し開催されました。二台のバスに便乗し、掛川市ステンドグラス美術館、掛川花鳥園、静岡空港を視察研修いたしました。

掛川市ステンドグラス美術館は掛川城内にあり、ステンドグラス70体が私どもを圧倒しました。ステンドグラスにより教義を表現しているという意義も知りました。掛川花鳥園では花いっぱい広場バイキングは格別、リラックスし話が弾みました。静岡空港は新聞報道のように観光の中国人があふれ、以前より活気がありました。残念ながら、飛行機の到着はありませんでした。

当日は天候にも恵まれ、体の不自由な方の面倒をお互いにしたふれあいの一日でした。最後に二橋会長の「今後の課題と更なる飛躍」について話があり、別れを惜しみながら後にしました。



第8回アジア太平洋ろう者競技大会に参加

柔道—66kg級優勝！！ 佐藤正樹選手のがんばり

裾野市身体障害者福祉会

アジア太平洋地域においては、最大規模の聴覚障害者のための総合競技大会「第8回アジア太平洋ろう者競技大会」が、台湾桃園市で2015年10月3日(土)から10月11日(日)までの9日間開催されました。

佐藤正樹選手は10月9日(金)の-66kg級の柔道に出場し、1回戦不戦勝、2回戦韓国選手に優勢勝ち、決勝戦イラン選手（前回アジアチャンピオン）に優勢勝ちし、見事に優勝しました。

日本からは柔道の部に4人参加しましたが、優勝したのは佐藤正樹選手だけです。また、-66kg級で日本人としてチャンピオンとなったのは佐藤正樹選手が初めてです。



佐藤正樹選手は、山梨県富士吉田市出身、現在トヨタ自動車(株)東富士研究所に勤め、裾野市今里のトヨタ寮にいます。柔道歴は、小学校1年生から柔道を始め、競技歴16年になります。

アジア大会選考が6月に東京で開催され、試合形式の練習会に参加し、その中で抜群に強く代表として推薦されました。

今回の大会でチャンピオンになったので、2016年世界選手権（開催地：未定）、2017年デフリンピック（開催地：トルコ）の出場権を獲得しました。

「今後、子供たちに教えてあげたい。そのために子供に夢と希望を抱かせるために、基礎体力の強化、更に強い選手と練習し、レベルアップしていきたい。」と抱負を語っていました。

書き損じはがき・使用済み切手を集めています

静岡県身体障害者福祉会では、年賀状・かもめーる・書き損じ等の未使用（未投函）はがき、使用済み切手を集めています。（配達済みのはがきや切手の貼られてない絵葉書は対象外になります。）古いものでも、1枚からでも結構ですので、お手元にありましたらご協力をお願いいたします。

※プライバシーや個人情報の取り扱いには十分留意いたします。

※使用済み切手は、切手のまわり5ミリ～1センチ程度の余白を残して切り取ってください。

<お問い合わせ・送付先>

社会福祉法人静岡県身体障害者福祉会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 電話：054-252-7829 FAX：054-255-2011



しずおか元気応援フェア2015に出展しました!

日 時：平成27年10月10日(土)～11日(日) 10:00～16:30 (11日は～16:00)

場 所：ツインメッセ静岡 北館

今年もしずおか元気応援フェアが開催され、会場には健康・食・福祉に関するブースが並び、多くの来場者でにぎわいました。

静岡県身体障害者福祉会ブースでは、10日に点字体験とストラップ作り、11日に点字体験とパステルアートを行い、年齢を問わず多くの方が体験してくださいました。ストラップ作りは中部ブロック女性部の4名に講師として指導していただきました。クラフトテープを組み合わせて作るカラフルなサイコロ型のストラップはとても好評でした。

その他、福祉ゾーンの各ブースでは福祉機器の展示・授産製品の販売等、福祉体験ゾーンではセニアカー、車いす、足こぎ車いすの試乗体験を行いました。ご来場いただいた皆様と、ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



【オープニングセレモニー】



【ストラップ作りの様子】



【足こぎ車いす体験】

文藝

短歌

荒浪のうまれそだちぞ台風の

波の音さへ子守うたなる

秋はまだ遠しと空を見上げるに

ほのかに白く昼の半月

腰掛ける石はほのかに温みるて

語りあひたり日の伸びたるを

河津町 中村 保則

夫の君はコーディネート良くホランテシアに

今朝も陽を浴び菫春を迎える

秋場所の四股名のびのび張りのあり

賞品数多力士の胸に

菊川市 山田 久美子

俳句

立冬やコーディネート良し菫春迎ふ

秋場所の声援を背に肩上げる

菊川市 山田 久美子



川柳

誰にでも分け隔てなく出る初日

限られた手段精一杯の道

苦勞の花いつか幸せの実熟れる

袋井市 小林 ふく子

投稿大募集!!

短歌・俳句・川柳はもちろん、地域での活動や取り組みの様子、日ごろの生活で得た感動や発見、思いなどありましたらぜひご投稿ください。※多数投稿の場合は選定させていただきます。

※点訳をするために漢字には必ずふりがなをお願いします。

次回の投稿締め切りは、**6月10日(金)**です。

<送付先> 静岡県身体障害者福祉会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館5階
電話 054-252-7829 / FAX 054-255-2011